ダンス学習とジェンダー　報告１
――男女共習のダンス創作学習における，学習者の意識の変容――

保健体育科　宮　本　乙　女

目　　次

Ⅰ　はじめに…… 72
Ⅱ　目的・方法…… 72
　1．研究目的…… 72
　2．研究方法・計画…… 72
　3．質問項目…… 73
　4．実践カリキュラム…… 73
Ⅲ　結　　果…… 74
　1．ダンスは「女子に向いている運動」か…… 74
　2．他の種目は男女どちらに向いていると意識されているのか…… 78
　3．男子の得意と女子の得意はあるのか…… 79
Ⅳ　考　　察…… 80
　1．調査結果による結論…… 80
　2．調査結果より授業実践に生かせること…… 80
Ⅴ　成果と課題…… 81

要　　旨

2001年度と，1996年度*1に，男女共習のダンス学習を実施した中学１年生に対し，学習前と数時間の学習後にダンス，バスケットボール，ハードルが「男女どちらに向いていると思うか」についての意識調査を行った。多くのものは「ダンスは女子に向いている」と考えていたが，学習後には「特に男女に差はない」というように学習者の意識が変容することがわかった。2001年度には，単元の最後の発表会後にも同様の調査を行い，さらにその意識の進んだことがわかった。また，特に，男子の「ダンスは女子のもの」というジェンダー意識がこの５年間で薄れつつあるらしいことが推察された。

I　はじめに

10年前の学習指導要領改訂により，男女それぞれが武道やダンスを学習することができるようになり，そして，平成14年度より施行される新学習指導要領では，子どもたちにとってさらに選択の幅が広がった。男女の区別なく個性に応じて多様な種目を学習できる体制が整いつつあると考えられる。体育学習場面における男女のジェンダーについて検討することは，この改正の趣旨を活かす教育にとって大変重要であると考えられる。

ところで，この10年，心身の発達の著しい中学期の体育学習を共習でするのか，別習でするのか，多くの学校の実践例が報告されてきた。実際に男女共習の学習指導については困難を感じている教師も多い。筆者自身「男女共習のダンス学習」について，強く男女の違いを意識して継続してきた。

この報告では，現在ダンスを学習中の中学１年生が，ダンスと男女について，どのように感じているのかを調査した結果に基づいてこれからのダンスの学習について考察したい。

II　目的・方法

1．研究目的

本研究は，ダンス学習の実践において，学習者のジェンダーに関する意識の変容を明らかにし，今後の男女に対するダンス教育に資する資料を得ることを目的とする。具体的な目的は以下の３点である。

(1)　ダンスを学習することによって，ダンスに関するジェンダー意識がどのように変容するのかを明らかにする。

(2)　ダンス学習において，男子と女子の目標の達成に差があると意識されているかどうかを明らかにする。

(3)　５年前の学習者と比較して，ダンスに関する意識が変容したのかどうかを明らかにする。

2．研究方法・計画

(1)　対象：創作を中心としたダンス課題解決学習を実施している本校中学１年生男女

①　2001年10月～2002年１月まで学習した男女134名

②　1996年10月～1997年１月まで学習した男女（既に調査済み）

(2)　方法：ダンスと，その他のスポーツに対するジェンダー意識に関するアンケート調査

2001年度学習者に対しては，学習前，５時間目，学習終了後

1996年度学習者に対しては，学習前，７時間目。

3. 質問項目

① 「ダンス」は男女どちらに向いている運動だと思うか。どちらがうまいか，ということでなく「向いている」ということについて答えること。また，そう考える理由は何か。

② 「バスケットボール」「ハードル」は男女どちらに向いている運動だと思うか。

③ ダンス学習の中で学習者に求めている内容「思いついたらすぐに動こう」「身体を思い切り使ってダイナミックに動こう」「恥ずかしがらずに堂々と動こう」「グループで協力して作品にまとめよう」について，男子と女子とどちらが優れていると思うか。

4. 実践カリキュラム

創作ダンスを中心としたダンス学習を行った。基本的に1時間完結で，課題を解決する学習である*2。1時間の授業のスタイルは，表1に示すとおりである。本校は，1単位時間45分であるが，ダンスは，90分で行うコマを，ペースランニング40分と組み合わせて50分で行っている。また，2001年度，1996年度の学習計画は表2，3に示すとおりで，どちらも生徒に示した目標は次の3つである。

① 恥ずかしがらずに堂々と

② 思いきり体を動かそう

③ 仲間の表現や個性を認めて楽しもう

表1　1時間の流れ

ダンスウォームアップ…5分
　心と身体をほぐす
本日の課題提示……5分
課題を動く……15分
　先生といっしょに一人一人の動きとイメージを広げる
グループ創作……15分
見せ合いとまとめ……10分

表2　2001年度の学習計画　1～6は50分。7・8，9・10，11・12　は連続授業で90分

時間	課　題	内　容
1	しんぶんし	新聞紙を使って2，3人組で遊びながらひとながれ
2	走る―止まる	走ると止まるのメリハリを大事に3，4人で小作品づくり
3	スポーツいろいろ	スポーツのデッサンから6人でメインを大事にして作品作り
4	〃　ミニ発表	クラス内でミニ発表会。ひとグループずつ。
5	VTR鑑賞，調査	スポーツのミニ発表をVTR鑑賞。他のクラスの作品も。
6	固まる―とびちる	ぎゅっと集まって，ぱっと飛び散る群の課題。
7 8	見立ての世界	色々なものを使って「見立て」て遊ぶ。
9 10	〃　作品づくり	ものも，身体も場所も大きく使って，グループで小さな作品に。
1112	学年合同発表会	司会者も立てて，学年で合同発表会。

表3　1996年度の学習計画　50分

時間	課　題	内　容
1	オリエンテーション	
2	しんぶんし	新聞紙を使って2，3人組で遊びながらひとながれ
3	走る―止まる	走ると止まるのメリハリを大事に3人で小作品づくり
4	走る跳ぶ転がる	思い切り跳んで，3，4人で小作品づくり
5	スポーツいろいろ	スポーツのデッサンから6人でメインを大事にして作品作り
6	〃　ミニ発表	クラス内でミニ発表会。ひとグループずつ。
7	VTR鑑賞，調査	スポーツのミニ発表をVTR鑑賞。他のクラスの作品も。
8	真冬の特別プロ	冬のデッサンとダンスサーキット
9	集まる―離れる	ぎゅっと集まって，ぱっと飛び散る群の課題。
10	野生の世界	「野生」のイメージから小作品。
11	見立ての世界	色々なものを使って「見立て」て遊ぶ。グループで作品に。
12	〃　発表会	司会者も立てて，学年で合同発表会。

III　結　　果

1.　ダンスは「女子に向いている運動」か

「ダンスは男女どちらに向いている運動だと思いますか…どちらがうまいかと言うことでなく『向いている』ということについて答えてください」をたずねた。回答は，5段階で，「ぜったい女子」「どちらかというと女子」「どちらとも言えない」「どちらかというと男子」「絶対男子」から選択する。

2001年度の授業者の，授業前の予想，4つの課題を学んだあと，そして，最後の発表会を終えたあとの調査結果は，図1aの通りである。授業前は，全体として，女子に向いていると答えたものが，52%である。3つの課題を学んでミニ発表を終えた5時間目には，34%に減少する。逆に「男女に差はない」と答えるものが，57%に増加する。最後の発表を終えたあとには，「男女に差はない」と答えたものが，66%に増加している。

図1bは，それを，時間経過に従って視覚的に示したものである。

この5段階の回答に「絶対女子」に－2点から，「絶対男子」＋2点までの数値を与えて，平均を出してみた。マイナスの数値は女子に，プラスは男子に向いているという傾向を示す。授業前は，平均－0.56点　5時間目は－0.31点　学習後は－0.30点であった。学習前と，ダンス5時間目の間には有意な差が見られ，短時間でも学習することによって，「ダンスが『女子』に向いている」という考えが減少する。また，ある程度の作品を作り上げ，学習を終えたあとには，さらに，その考えが減少することがわかる。

男女別に見てみると，図1cに示されたように，女子の方が，その変化が大きく現れている。

図1a ダンスは男女どちらに向いているか2001年度

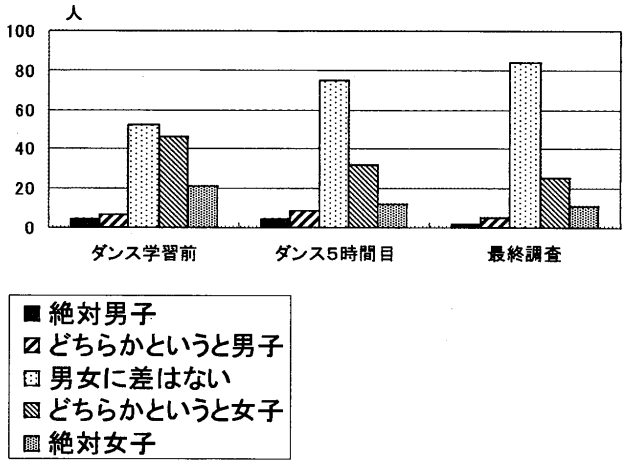


図1b ダンスは男女どちらに向いているか

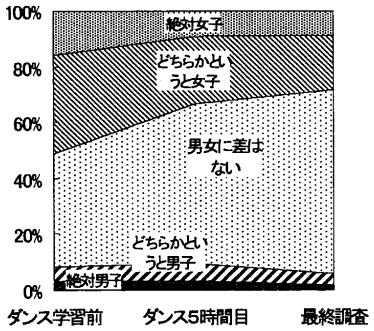
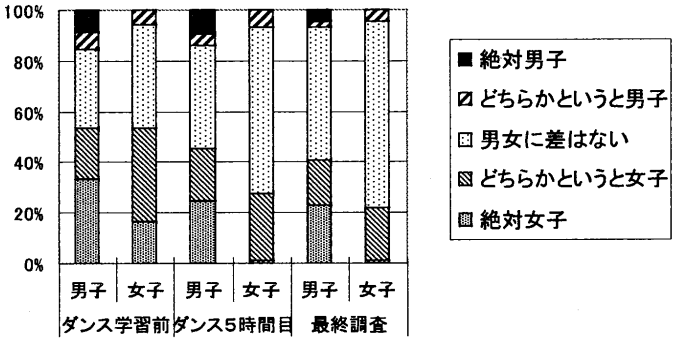


図1c ダンスは男女どちらに向いているか男女別



ダンスは男女どちらに向いているか（数字は人数）

	点	学習前	5時間目	学習後
絶対男子	+2	4	4	2
どちらかというと男子	+1	7	8	5
男女に差はない	0	52	75	84
どちらかというと女子	−1	46	32	25
絶対女子	−2	21	12	11
点の平均値		−0.56	−0.31	−0.30

＊0.5

＊0.5

「女子にむいている」から「男女に差はない」に考えが変化した生徒の理由は表4aに，示した。

まず学習前に「女子に向いている」と思った理由は，「女子の方がうまそう」というイメージや「ダンス部に女子しかいない」「身体が柔らかい方が向いている」というこれまでの認識による回答がほとんどである。他に「男子はふざけるから」というように男子の行動のパターンに着目したものもあがった。学習後に「男女に差はない」と答えた理由は，「みんな上手」「男女ともにちゃんと踊れるから」「表現することに性別は関係ないから」と，男女に差のないことを回答したものがほとんどであったが，「女子はアイディアがすごく男子は恥ずかしがらず」「それぞれ楽しめるものができていたから」というように，それぞれの良さに着目した理由もあがっていた。学習を通じて，イメージを修正した様子がわかる。

表4　ダンスは「絶対女子に向いている」「どちらかというと女子に向いている」から「特に男女に差はない」に，回答の変化したものの理由

＊「絶対女子」−2　「どちらかというと女子」−1　「男女に差はない」0　「どちらかというと男子」　+1　「絶対男子」　+2

意識の変化＊			学習前の回答理由	学習後の回答理由
学習	5時間目	学習後		
−2	0	0	ダンス部に女子しか入ってないから	男子でも上手なダンスがあったから
−2	0	0	なめらかだから	思いこみ
−2	0	0	男子はふざけているから。	どっちもおもろいから
−2	0	0	ダンス＝バレエって感じがしていたから	ダンサーで男の人も女の人もいるから
−2	0	0	女子の方が自然に踊れているから	それぞれ楽しめるものができていたから
−2	−1	0	男子はふざけるから	女子はアイディアがすごく男子は恥ずかしがらず
−2	−1	0	男子はダンスでなくふざけるから	同じくらいのことをやっていたから
−1	1	0	球技だけでなく，剣道などもできるから	みんな上手だったから
−1	1	0	ダンス部などは女子ばかりだから	見ててそう思った。(変わりはなかった)
−1	0	0	考えて行動するから	
−1	0	0	男子はふざけすぎ	うまいヒトはうまい
−1	0	0	体柔らかそうだから	男で踊っている人が少ないからやる気次第で動きを考えられる
−1	0	0	表現とか工夫して踊りそうだから	どちらも楽しくやれば関係ないと思ったから
−1	0	0	男子が踊っている人をあまり見たことがない	上手な人は男女両方にいるから
−1	0	0	ダンスは女子がよくやるものだと思っていたから	男子でも女子でもダンスはやるから（劇団四季とか）
−1	0	0	女子は体が柔らかいから向いていると思う	動いたりするのに個人差はないと思うから
−1	0	0	ダンスと聞いたとき，「女子！」と思ってしまった	男子でも女子でもアイディア＆ダンスは良いものは良いです
−1	0	0	女子の方がからだがスムーズに動きそうだと思った	男子でも楽しいダンスｅｔｃ色々な工夫があって良いから
−1	0	0	男子とダンスってなんていうか，イメージ的に…	みな楽しんでたから
−1	0	0	ダンスというとかわいい感じがするしダンス部にも女子しかいないから	みんな楽しくやっていたから身体を思い切り使ってた
−1	0	0	女子の方が動きがなめらかだから	表現することに性別は関係ないから
−1	0	0	まとまりやすそうだから	みんな楽しめるから
−1	0	0	ダンスについて興味がある人が多いと思うから	みんなあまり恥ずかしがってなかったし道具をうまく使えていたから
−1	0	0	きれいに細かいところまで洗わせると思ったから	男女どちらでも堂々とやればきれいな作品ができるから
−1	0	0	ダンス部は女子ばかりだしそういう気が前からしていたから	男子も女子もあまり変わりはないと思うから
−1	0	0	女子の方が動きがきれいだと思う（なめらか）	男子も女子もよかったと思う
−1	0	0	ダンス部とか全員女子だから	ダンスは楽しく踊れてればどちらでもいいと思うから
−1	0	0		特に理由はありません
−1	−1	0	男子はバスケなどの激しいスポーツで女子はきれいなスポーツがいいから	ダンスは性別も関係なく楽しくできるスポーツだから
−1	−1	0	恥ずかしがらないから	男女はあまり関係ないから
−1	−1	0	とくに理由はない	とくにない
−1	−1	0	女子の方がしなやかな動きをできるから	特に違いがないし，やろうと思えばできるから
−1	−1	0	女子の方がダンスをしているのをよく見かけるから	たいした差はないから

表 4b　学習前も学習後もダンスは「絶対女子に向いている」「どちらかというと女子に向いている」と回答したものの理由

＊「絶対女子」−2　「どちらかというと女子」−1　「男女に差はない」0　「どちらかというと男子」　+1　「絶対男子」　+2

意識の変化＊			学習前の回答理由	学習後の回答理由
学習	5時間目	学習後		
−2	−2	−2	男子はしない	男に見えない
−2	−2	−2	うまいから	女子はとても器用だから
−2	−2	−2	あっているから	女子の方がからだが柔らかいから
−2	−2	−2	あってたから	そういう性質だから
−2	−2	−2	男がやるとこ見たことない	なんとなく
−1	0	−1	男子より女子の方がダンスのことをもっと知っているから	女子の方がダンスの時活発だから
−1	0	−1	男子はあまりそのようなことをやらないから	なし
−1	0	−1	なんか女子の方がうまかったしまとまっていた	女子の方がまとまっていてきれいだった
−1	0	−1	音楽というイメージが合うのは女子だと思っていた	女子の方が踊ったときにかっこよいから
−1	0	−1	ダンス部は女子だけだから	女子の方がきれいで優しいイメージがあるから
−1	−1	−1	ダンスの構成など女子の方がうまいから	全体的に作品がまとまってたから
−1	−1	−1	男子はふざけるかも，と思ったから	男子よりも女子の方がきれいに表現できるので
−1	−1	−1	ダンス部は女子しかいないから	なんとなく
−1	−1	−1	きれいな感じがして女子の方が合っているから	ダンスはきれいというイメージがあるから
−1	−1	−1	ダンス部に男子がいない	ストーリー，構成をきちんと考え創った作品が多かったから男子でも向いている人には向

表 4c　ダンスは「特に男女に差はない」から，「絶対女子に向いている」「どちらかというと女子に向いている」回答の変化したものの理由

＊「絶対女子」−2　「どちらかというと女子」−1　「男女に差はない」0　「どちらかというと男子」　+1　「絶対男子」　+2

意識の変化＊			学習前の回答理由	学習後の回答理由
学習	5時間目	学習後		
0	0	−2	練習すればできる	男子には向いていない
0	0	−2	差がないから	ダンス部には女子しかいないから
0		−2	テレビでよく男女合わせてバレエをやっているから	ダンス部が女子ばっか
0	−1	−1	どちらも面白いから	女子の方がうまかったから
0	−1	−1	男女がどちらもできる運動だと思っていたから	女子のグループの法がまとまっていた
0	−1	−1	男女関係なくみんなで踊るから	女子の方がダンスに興味を持っていると思ったから
0	−1	−1	考えることもほとんど同じだと思ったから	女子の上がきれいに見せる工夫が多い
0	−1	−1	男子も女子も想像力に差はないから	ダンスというと女子を連想してしまうから
0	−1	−1	表現がうまくできていれば男女に差はないと思う	女子の方が柔らかい動きができると思う。でも男子には男子の力強さがあっていいと思う
1	0	−1	男子の方が動きがいいような。	男子のダンスって面白くないのが多いので

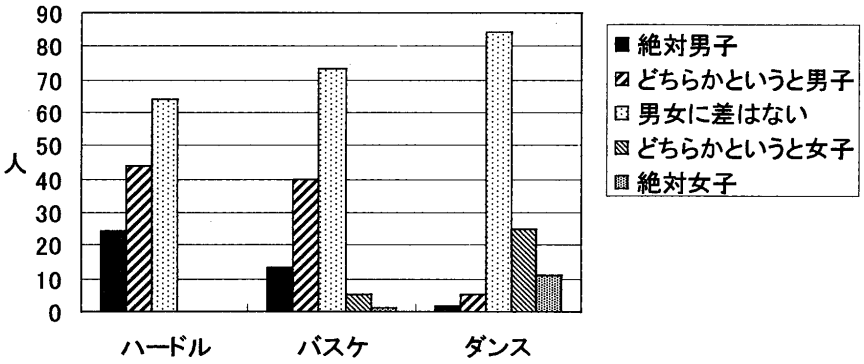
一方，学習前と，学習後に，どちらも「女子に向いている」と回答の変わらなかったものの理由を，表4bに見ると，学習前は，「男子はしない」「ダンス部は女子だけ」「女子の方がきれいで優しいイメージがあるから」ダンスの持つイメージで回答しているが，学習後は，同じような回答に加えて,「女子の方がダンスの時活発だから」「女子の方がまとまっていてきれいだった」と，実際に活動して気づいた内容も記述された。

また，授業前よりも授業後に，「女子に向いている」という考えが強くなったものの回答を表4cに見てみると，学習前は,「差がないから」「男女がどちらもできる運動だと思っていたから」「男女関係なくみんなで踊るから」「考えることもほとんど同じだと思ったから」「男子も女子も想像力に差はないから」と，差がないと予想する記述が多いが，後には,「女子のグループの方がまとまっていた」「女子の上がきれいに見せる工夫が多い」等，活動して気づいた点も記述されていた。

2.　他の種目は男女どちらに向いていると意識されているのか

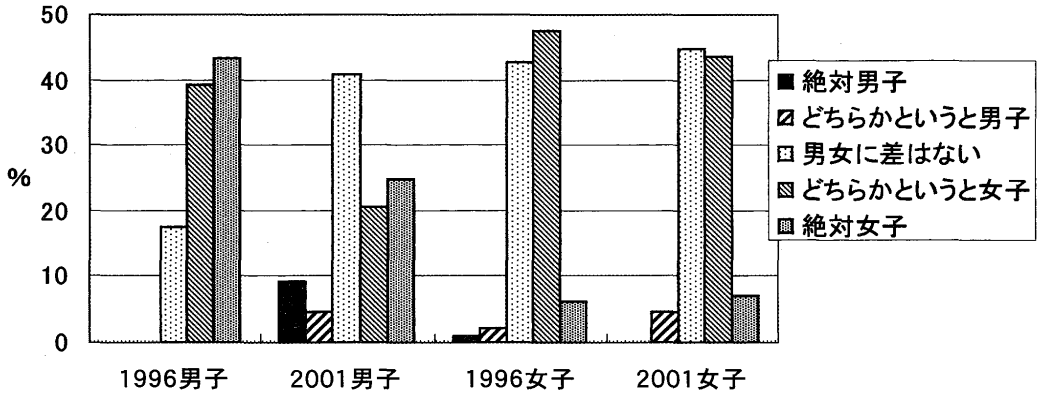
比較のために，同じアンケート用紙の中で，約2ヶ月前に学習を終えた「バスケットボール」と「ハードル」に対して同様の質問をしたが，この二つは，かなり「男子に向いている」という考えが出ている（図2）。

図2　その種目は男女どちらに向いているか(学習後)　2001年度



1996年，ちょうど5年前のカリキュラムでは，今年度よりも1つ課題を多く行ったあとでの調査になるが，2001年度と比較して図3に示した。全体として，今の生徒よりも学習前に「ダンスは女子に向いている」と答えたものが多い。特に男子は，全体の8割以上がそう答えている。この変化が，教育の成果であるのか，あるいは，世の中の男女とスポーツや男子に対する意識の変化の影響であるのかを検討するには，今後の継続的な調査と，その他の先行研究の分析が必要である。ちなみに，5年前も学習後は多くのものが,「男女に差はない」と答えるようになっている。

図3　ダンスは男女どちらに向いているか（学習前）
1996年と2001年の比較



3.　男子の得意と女子の得意はあるのか

ダンスの授業の中で，学習者に求めている内容「たくさんイメージをみつけよう」「仲間の個性や表現を認め合おう」「思いついたらすぐに動こう」「身体を思い切り使ってダイナミックに動こう」「恥ずかしがらずに堂々と動こう」「グループで協力して作品にまとめよう」について，男子と女子とどちらが優れていると思うかをたずねた。これも「絶対女子」から「絶対男子」までの5段階でたずねた。図4は，点数化したものの平均値をグラフ化したものである。男子は「思いついたらすぐ動く」「動きがダイナミック」「恥ずかしがらない」の点で優れていると考えられ，女子は「作品としてまとめる」という点で優れていると考えられている。各項目間に有意な差が見られた。この結果も，5年前の調査と一致している。

この差は，5時間目まで授業を受けての印象であるが，一般的な男性イメージ「筋力がある」に左右されている部分もあるかもしれないが，教師から見る授業の様相と類似している。

図4　男女、どちらが優れているか：平均値

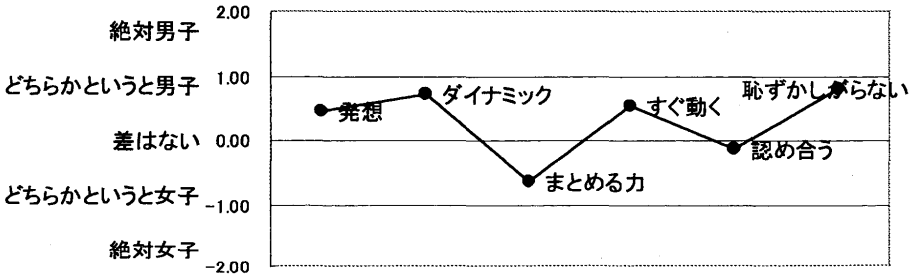


表5　教師の観察による中学1年男女のダンス学習中の差異

・即興的な創作場面では男子の方がすぐ動き出し，女子は慎重に考えてから動く。 ・発想は男子の方がユニーク，コミカルな路線が多い。 ・女子の方が長く続けて踊れるが，男子は短い単発な動きが多い。 ・男子は一つの事柄をじっくり取り組むより次々と発想を移していき，前のものは捨ててしまう傾向がある。 ・女子の方がじっくり取り組み前に動いたものを活かして積み重ねる場合が多い。 ・ダイナミックと言うことに関しては，同じ動きをすれば男子の方がダイナミックな場合も多いが，作品としては女子も大きく元気に動く。

Ⅳ　考　　察

1.　調査結果による結論

調査結果をまとめてみると，ダンスを男女で学習することによって「ダンス＝女子」のイメージは減少し，男女ともに得意なことに差はあっても，どちらがダンスに向いているかと言うことについては差がないと考えるようになる。その傾向は女子の方が強く表れている。ダンスと比較すると「ハードル」と「バスケット」においては，学習後も男子に向いているという回答が多い。

授業を受ける前に「ダンスは女子に向いている」と思う理由の主なものは，女子の方がうまそう，体が柔らかい方がダンスに向いているというイメージによるものであった。授業を終えて，「男女に差はない」と考えるようになった理由は，男女ともに「ちゃんと踊れる」という事実を理解したというものが多いが，男子と女子それぞれに良さがあるという点に着目した考えもあった。活動を通して，イメージを修正したことがわかる。

5年前は，今年度に比べて，学習をする前の男子の「ダンスは女子に向いている」という意識が非常に強かった。理由の解明については追跡調査や先行研究の検討が必要である。

男子の得意と女子の得意があると考えているものが多い。男子は「ダイナミック」「すぐ動く」「恥ずかしがらない」という点で，女子は「作品としてまとめる」という点で優れていると考えられており，これは，教師の観察事項と近い結果である。

2.　調査結果より授業実践に生かせること

以上のような調査結果と，これまでの実践から男女共習，あるいは男子を対象とした授業についての視点をいくつか述べておきたい。

(1)　個性を認め合う雰囲気を作る

男女ともに，授業を重ねていくと，それぞれに得意なところはあるが，同じようにちゃんとダンスを作り踊れることを理解する。そこで，教師の側でも男女差を，個人差の大きなものとしてとらえ，積極的にそれを生かし，ともに，作り，踊り，見せ合う中で，お互いの個性が，それぞれの表現の世界を広げるように授業を運びたい。

教師側から示す約束や声かけとして，「仲間の表現を認め合おう」「プラスの評価を心がけよう」「大きな拍手をしよう」などをもちいる。また，男子の，短くても思い切りのよい表現や，リズミカルに見えなくても発想がユニークな表現を教師自らよくほめること，女子の計画的な構成をよくほめることなどで，それぞれお互いの表現を認め，そのよい影響を自分たちの表現に取り込むことができるようになると感じている。

(2)　大きなエネルギーで爆発できる課題を選ぶ

これは男女にかかわらず，ダンスを初めて学ぶものにとって共通の原則であるが，調査結果からも，男子はその点が優れていると意識されている。そこで，特に早い段階で，そのような課題を設定し，男子に高さや早さへの挑戦のチャンスを与え，女子と見せ合うことで自分の得意を認識し，女子も男子の表現の良いところを意識することは，ダンス学習をやりやすくすることにつながると考えられる。

V　成果と課題

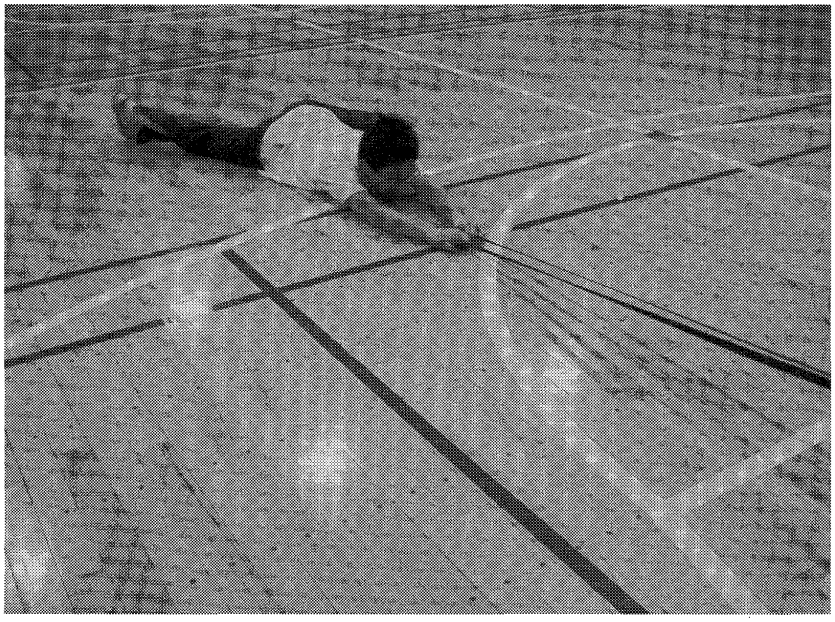
1．成　　果

男女共習のダンス学習を通じて，生徒のダンスに関するジェンダー意識が薄れていくこと，特に女子にその傾向が強く表れていることがわかった。また，男子と女子がそれぞれ得意なことがあるということを意識していることもわかった。これらの結果から，ダンスの授業作りに，ヒントとなる資料が得られた。

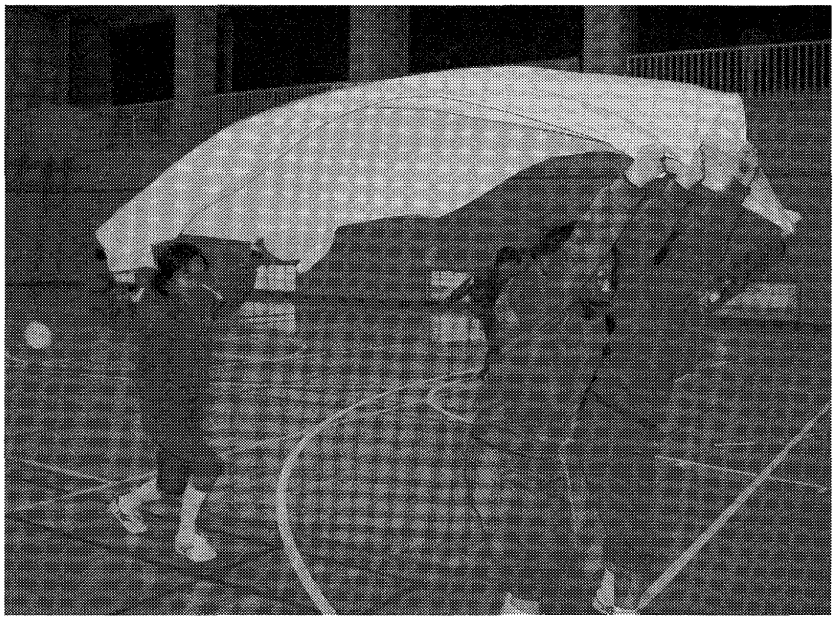
2．課　　題

これらの調査結果が，本校独自のものであるのかどうかを検討するために，男女共習の創作ダンスを中心とした授業を行っている他の学校や，他の発達段階で，同様の調査を行いたい。

男子の，ダンスに関するジェンダー意識は，5年前よりも薄らいだように思えるが，それが最近のジェンダー意識の変容に伴って，変容したのかどうかは，今回の調査からは明らかにならなかった。他の先行研究や，これからの追跡調査によって，明らかにしていきたい。



「見立ての世界」より，ゴムを使って



「見立ての世界」より，布を使って

注

＊1　『学校体育』（特集体育とジェンダー）1997　2月号 pp31～33に報告

＊2　「課題学習」は，日本女子体育連盟，授業研究グループによって実践研究され，幼児から大学生にわたる学習の成果が報告されている。